

「2017年度就職活動に対する保護者の意識調査」を発表 ～ 子供の就職活動に8割の保護者が「関心あり」と回答し、2年前と比べ約10pt増加。 特に母親の関心、結びつきが顕著に表れる ～

株式会社マイナビ（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：中川信行）は、就職活動中（活動予定を含む）および2017年3月に卒業した就職活動経験のある子供を持つ保護者を対象とした「2017年度就職活動に対する保護者の意識調査」の結果を発表しました。概要は以下の通りです。なお、本調査は2014年、2015年に続き3回目の実施となります。※2016年は未実施。本文中では2015年1月実施調査を「前回調査」と表記する

【TOPICS】

- ▽ 子供の就職活動に8割の保護者が「関心あり」と回答し、2年前と比べ約10pt増加。特に母親の存在の大きさが目立つ
- ▽ 6割強の保護者が就職環境は「厳しい」と回答。ただし、子供との間で感じ方に大きな差が見られる
- ▽ 保護者が望む子供の就職先は「経営が安定している」が最多。過半数が「新卒で入社する会社で正社員として長く勤めてほしい」と回答

<調査結果の概要>

■【子供の就職活動への関わり方】子供の就職活動に8割の保護者が「関心あり」と回答し、2年前と比べ約10pt増加。特に母親の存在の大きさが目立つ（図①～④）

子供の就職活動に対して、8割（80.3%）の保護者が「関心（高い関心+関心）がある」と回答した。同じ質問に対し、前回調査（2015年1月）では、全体の69.5%が「関心がある（高い関心+関心）」と回答しており、2年前から10.8pt増加した。特に母親は84.9%が「関心がある」と回答し（前回：72.8%）、父親の78.5%（前回：67.7%）を6.4pt上回った。

また、家族の中で、子供と就職活動について最も多く話すのは、「母親（68.1%）」で、「父親（28.0%）」を大幅に上回っている。普段の会話でも、母親の81.7%が「子供と（よく+どちらかという）話をする」としており（父親：57.5%）、子供との関わりにおける母親の存在の大きさがわかる。特に「娘・母親」のつながりが顕著に表れた。

■【就職活動への知識】6割強の保護者が就職環境は「厳しい」と回答。ただし、子供との間で感じ方に大きな差が見られる（図⑤～⑦）

就職活動への関心が高い一方で、その環境についての知識を聞いたところ、59.2%の保護者が「（よく+そこそこ）知っている」と回答した。「3月1日以降会社説明会が開催される（56.3%）」「6月1日より選考活動ができる（50.2%）」といった回答が5割を超えている。

また、就職環境について聞くと、「（大変+多少）厳しい環境（65.5%）」が、「（多少+かなり）楽な環境（34.5%）」を31.0ptも上回った。前回（78.1%）よりは減少しているが、売り手市場と言われる中でも、保護者は厳しい環境であると感じているようだ。一方、学生側の調査では、先輩と比較して自分たちの就職活動が「（かなり+多少）厳しくなる」と11.3%※が回答しており、保護者と子供の間で、就職環境に関する感じ方に大きな差が見られた。※「2018年卒マイナビ学生就職モニター調査4月の活動状況」より

■【子供の就職先・将来に対する願望】保護者が望む子供の就職先は「経営が安定している」が最多。過半数が「新卒で入社する会社で正社員として長く勤めてほしい」と回答（図⑧～⑩）

保護者が望む子供の就職先は、「経営が安定している」が44.0%で、前回（48.1%）同様最多となった。息子を持つ母親の回答は51.9%で、娘を持つ母親の43.8%を8.1pt上回った。一方、2位の「本人の希望や意志に沿っている（36.9%）」は、息子を持つ母親（38.5%）より、娘を持つ母親（41.4%）の方が2.9pt高かった。また、子供の社会人としての今後について望むことを聞くと、最も回答が多かったのは「新卒で入社する会社で正社員として長く勤めてほしい（52.8%）」となり、キャリアチェンジせず1社で長く働くことを望んでいる。特に息子を持つ母親の回答が多く（60.9%）、前述の「経営の安定」を求める思いにつながっていることがうかがえる。次いで「子供が決めたのなら、どんな働き方でもよい（20.2%）」となった。なお、19.5%の保護者が入社式や内定式に「出席したい」と回答した（前回：17.8%）。

■【子供の大学入学時の選択基準】6割弱の保護者が、大学選択の際に就職実績を重視（図⑪・⑫）

大学選択時に57.2%の保護者が就職実績を「(かなり+ある程度)重視した」と回答し、前回(53.0%)より微増した。また、最も重視したことを聞いてみると、「学部ごとの就職率」と回答した保護者は34.6%(前回:32.7%)、続いて「学部ごとの就職先業界」が22.0%(前回:22.1%)で、学部ごとの状況を重視する保護者が多いことがわかる。

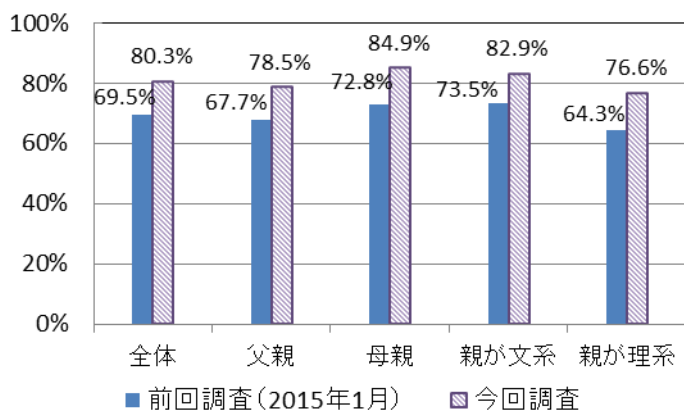
【「2017年度就職活動に対する保護者の意識調査」概要】

- 調査方法/WEB上のアンケートフォームより入力
- 調査期間/2017年4月9日(日)~4月10日(月)
- 調査対象/株式会社クロス・マーケティングのモニターで以下の子供を持つ保護者を対象
 - ・「大学4年/大学院2年で現在就職活動中、2017年に就職活動を行う予定」の子供
 - ・「2017年3月に大学/大学院を卒業/修了した就職活動経験のある」子供
- 有効回答数/1,000名
 - ・父親:716名/母親:284名
 - ・現役(子供が大学4年・院2年の保護者):615名/卒業/修了(子供が社会人1年目の保護者):385名

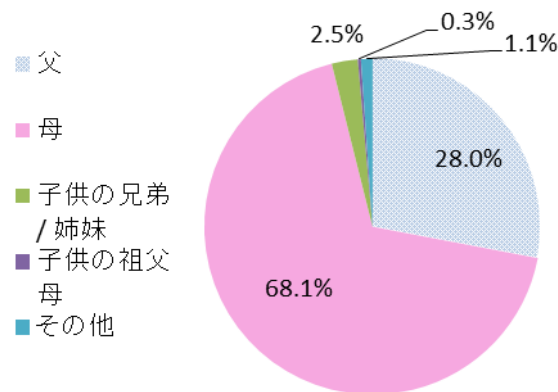
※調査結果の詳細は新卒採用サポネット (<http://saponet.mynavi.jp>) で公開しています

【参考グラフ】

①子供の就職活動に「高い関心がある+関心がある」



②就職活動について最も多く話す相手

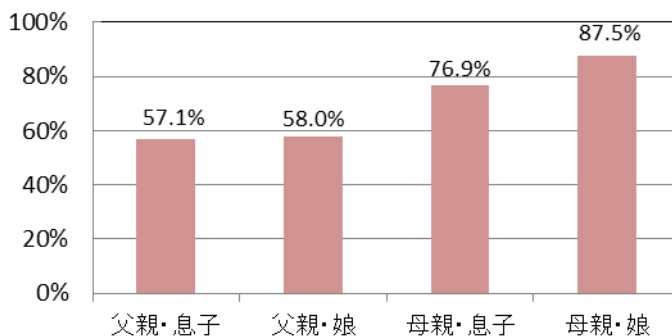


③子供と普段からよく話をすると思いますか

	全体	父親	母親
回答数	1,000	716	284
よく話をする	24.9%	19.0%	39.8%
どちらかという話をする	39.5%	38.5%	41.9%
あまり話をしない	32.7%	38.8%	17.3%
まったく話さない	2.9%	3.6%	1.1%
(よく+どちらかという)話をするの合計	64.4%	57.5%	81.7%

④(よく+どちらかという)話をするの合計

※父母・息子娘の組み合わせ別



⑤子供の就職活動環境についてご存じですか

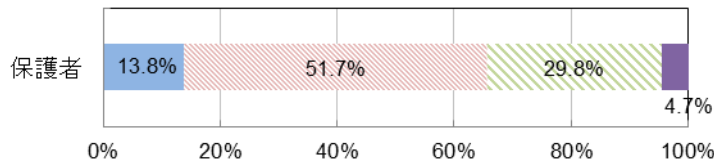
	全体	父親	母親
回答数	1,000	716	284
よく知っている	10.1%	9.5%	11.6%
そこそこ知っている	49.1%	47.3%	53.5%
あまり知らない	35.4%	36.6%	32.4%
まったく知らない	5.4%	6.6%	2.5%
(よく+そこそこ)知っているの合計	59.2%	56.8%	65.1%

⑥いまどきの就職活動について知っているものがありますか【複数回答】

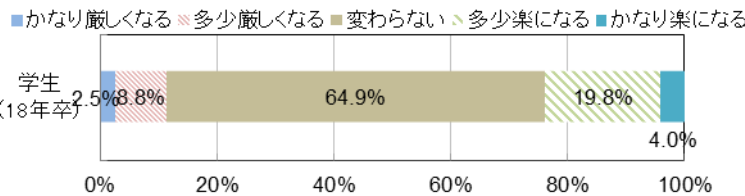
	全体	父親	母親
全体	1,000	716	284
卒業・修了年度に入る直前の3月1日以降企業の会社説明会が開始される	56.3%	54.6%	60.6%
卒業・修了年度の6月1日より企業は選考活動ができる	50.2%	48.7%	53.9%
正式な内定日は10月1日である	40.6%	39.2%	44.0%
就職情報サイト経由での(エントリー等の)資料請求は3月1日からできるようになる	29.7%	26.8%	37.0%
合同企業説明会で大規模なものは数万人の来場者数がある	34.0%	29.7%	44.7%
インターンシップに3月1日以前に参加する学生が増えている	36.1%	32.4%	45.4%
企業に対してインターンシップと採用を直結させないように要請されている	15.9%	14.1%	20.4%
経団連の採用に関する指針には関係なく、早くから選考を行う有名企業もある	28.3%	23.7%	39.8%
知っているものはない	20.2%	22.9%	13.4%

⑦子供の就職活動環境がどのような状況にあるとお感じですか

■大変厳しい環境 ■多少厳しい環境 ▲多少楽な環境 ■かなり楽な環境

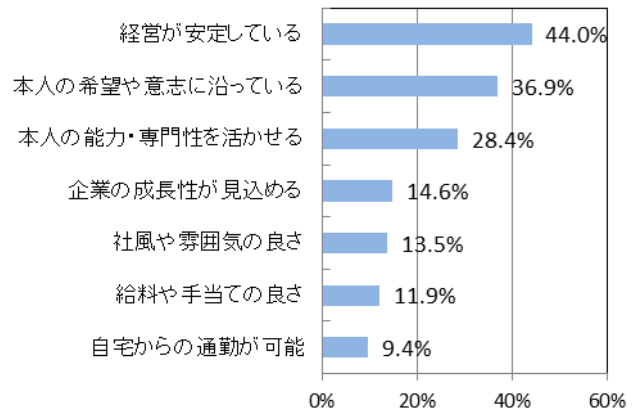


▽参考(学生対象)先輩と比較して自分たちの就職活動は
※マイナビ学生就職モニター調査4月の活動状況より

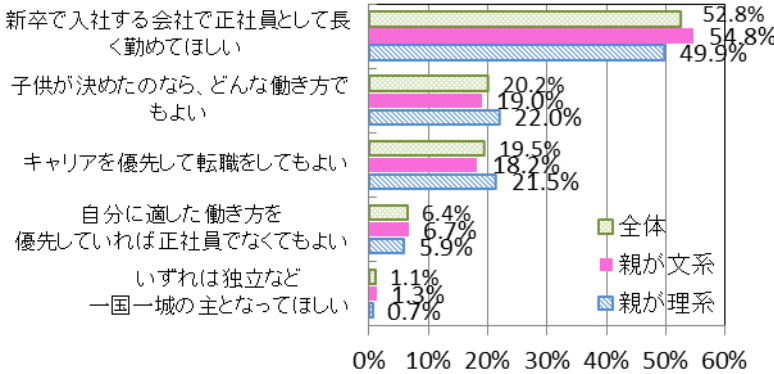


⑧入社してほしい企業の特徴(2つまで選択)

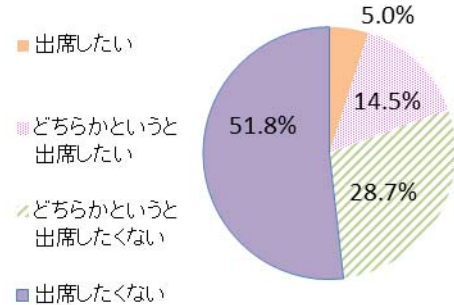
※上位抜粋



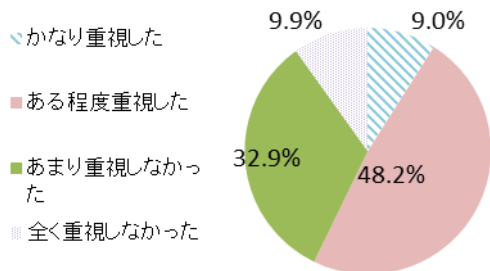
⑨子供の社会人としてのこれからについて望むこと



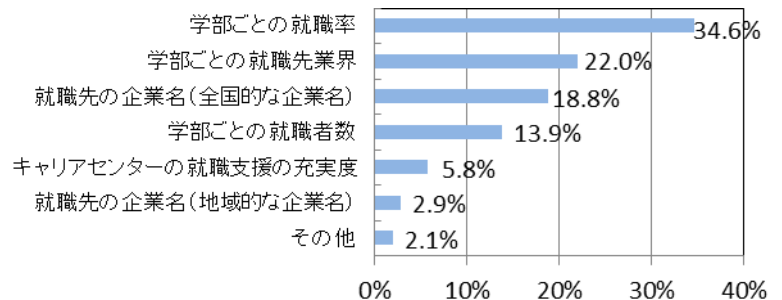
⑩子供の入社式や内定式に出席したいか



⑪大学選択時に就職実績を重視したか



⑫大学の就職実績に関して、最も重視したこと



【本件に関するお問い合わせ先】
株式会社マイナビ
社長室 HR リサーチ部 天野
Tel : 03-6267-4571 Fax : 03-6267-4145
Email : hrrc@mynavi.jp

【当社に関するお問い合わせ先】
株式会社マイナビ
社長室 広報部 渡邊
Tel : 03-6267-4155 Fax : 03-6267-4050
Email : koho@mynavi.jp